

2026 年度事業計画

2020 年代に入り、国際エネルギー情勢は激動の時代が続いています。とりわけ、昨年来いわゆる「トランプ 2.0」を背景とした自国優先主義の強まりや右傾化の進展に加え、イラン、ロシア・ウクライナ、ベネズエラ、ガザ、グリーンランドを含む各地域における地政学的緊張が一層高まりを見せ、また、国連や COP 等の多国間枠組みにおける国際協調は停滞感を強め、経済圏の分断・ブロック化の動きも顕在化しているといえます。

併せて、2026 年度から 2027 年度初頭にかけて予定されている米国中間選挙をはじめとする主要国の国政選挙を契機とした各国のエネルギー政策動向についても注目していく必要があります。

こうした国際環境の変化が、エネルギー情勢全般（安全保障、価格動向、脱炭素の進展、重要鉱物の確保、サプライチェーンの安定性等）に与える影響を注視しつつ、当協会の以下の 3 つの基本理念に則り、新たな技術や業界の枠を超えた取り組み、エネルギー供給サイドのみならず需要サイドや社会構造やビジネス環境の変化にも注目して、今後の事業活動を展開していくこととします。

- 1 エネルギーを始めとする多様な事業領域の結集と調整を行う国内唯一の民間組織としての強みを発揮し、業際・国際間の諸課題の解決に貢献する。
- 2 会員事業者等の知見と協力を得つつタイムリーな施策提言や調査報告等を行い、多様性を活かした課題の共有に努める。
- 3 世界エネルギー会議 (WEC) のメンバーとして、海外のエネルギー情勢を適切にフォローするとともに、我が国の状況や立場を発信し、相互の理解促進を図る。

以上の認識のもと、今年度は以下の事業を展開してまいります。

- ・重点事業：WEC リヤド世界大会に会員とともに参加し、大会の活性化と成功に貢献する。併せてホスト国であるサウジアラビアの理解を深めるための公開講演会を開催する
- ・WEC 事業：Officer's Council や総会、常設委員会、リニューアルされたアジア地域会議等に参加する。
- ・国内事業：引き続き、時宜を得たテーマによる講演会（パワートーク、講演会）等を開催する。
- ・事業運営：会員のニーズを踏まえ利便性と効率性を兼ねたイベントの企画運営に努め、国内外に向けたタイムリーな情報発信、情報セキュリティの強化を積極的に進めるなど、会員サービスの維持、質的向上を図る。

1. 普及啓発事業

(1) 機関誌発行事業

- ・「エネルギーと動力」を2刊（春季号：5月、秋季号：11月）発行して配布する。
- ・企画を審議するための編集委員会を開催する（2回）。時宜を得た小特集のテーマ等も含めて議論いただく。

2. WEC 事業

(1) 第27回リヤド世界大会への参加

- ・日本からの登壇者、一般参加者、展示出展者とともに大会に参加し、議論を活性化し、WECのブランド力向上と大会の成功に貢献する。併せて、現地で日本からの参加者等を対象にレセプションを開催する。
- ・開催日：2026年10月12日（月）～15日（木）
- ・開催地：サウジアラビア王国・リヤド
- ・会場：Riyadh Front Exhibitions and Conference Center
- ・テーマ：Inspiring Transformations, Delivering Transitions

(2) リヤド世界大会に関する公開講演会（調整中）

- ・10月に開催されるリヤド世界大会のホスト国であるサウジアラビアの理解を深めるための講演会を定時総会に合わせて開催する。
- ・登壇者：駐日サウジアラビア王国大使
- ・開催日時：6月16日（火）15時30分～（定時総会終了後）
- ・開催方法：ハイブリッド（経団連会館＋オンライン、同時通訳付き）

(3) 第27回リヤド世界大会報告会の開催

- ・上記（1）のリヤド世界大会の参加報告会をパワートーク（後記3（1）②）と合同開催する。
- ・開催日：12月頃
- ・場所：東京都内
- ・開催方法：ハイブリッド

(4) WEC年間活動への参加

①Officer's Council

当協会・廣瀬会長がWEC副会長として参加

②総会（Executive Assembly）および常設委員会

当協会、各委員が参加

③アジア地域会議

これまでの月例の「アジア地域会議」に代わり、リーダーシップのつながりを強化、戦略的協力を促進し、グローバルコミュニティ全体で地域的な視点を広めることを目的とした新しい地域会議シリーズ「グローバル・コネクト（Global Connect）」と「アジア地域リーダーシップ交流（Asia Regional Leadership Exchange）」が設立されたため、これらに参加する。

④その他諸活動

非定期のワークショップ、ラウンドテーブル、調査活動等に参加・協力

(5) 調査事業への参加

「世界エネルギートリレンマ (World Energy Trilemma Index)」、「世界エネルギー課題調査 (World Issues Monitor)」、「世界エネルギーシナリオ (World Energy Scenario Foundations)」をはじめとする旗艦調査事業について、引き続き調査支援等を行う。

(6) 会議の開催

・世界エネルギー会議日本国内委員会定時委員会

同委員会定款第 10 条第 1 項に基づき、定時委員会を当協会の定時総会と同時に開催する (6 月 16 日)。

3. 会員サービス事業

(1) 講演会・パワートーク等の開催

① 第 42 回パワートーク

- ・登壇者：電力広域的運営推進機関 田山 幸彦 理事
- ・テーマ：『2026 年度電力供給計画の取りまとめの概要』（仮題）
- ・開催日時：4 月 23 日 (木) 14 時～15 時 30 分
- ・開催方法：オンライン

② 第 43 回パワートーク

- ・下期 (12 月頃) 予定

③ 副会長会 (後記「4 (1)」参照) の冒頭講演部分アーカイブ配信

- ・下期予定

(2) ニュースレターの発行

会報「ニュースレター」を隔月 (偶数月 15 日・計 6 編) に発行する。
2027 年度からの電子化に向けた検討を進める。

4. 事業運営・会議他

(1) 会議の開催

- ・定時総会 6 月 16 日 (火)
- ・理事会 2 回：5 月、3 月
- ・運営評議員会 1 回：3 月 (理事会との合同開催)
- ・副会長会 1 回：下期

(2) 委員会の開催

- ・技術委員会 2回：7月、1月

(3) 情報発信（会員、国内外の会員以外）の充実

- ・リニューアルしたホームページやX（旧 Twitter）、その他デジタルツールを活用することなどにより、会員とのコミュニケーションの充実を図るとともに、日本のエネルギー事情等の情報発信など、国内外の会員以外に対しても、効果的かつ効率的な情報発信に努める。

以 上